



横浜市立富岡小学校

## 学校だより11月号



## いよいよ150周年記念行事 ～今こそ集大成の時～

副校長 雨宮 端

ついに150周年記念行事の開催月となる11月を迎えました。学校では、この日この時のために、足かけ2年にわたり、子どもたちと職員が一丸となって、文字通り“全校を挙げて”準備計画を進めてまいりました。いよいよ、その集大成の時を迎えます。

これまで、子どもたちはありとあらゆる場面で常に「150」という重みを意識しながら、様々なことを乗り越えてきました。学習面では、総合や生活の時間に校外へ出かけ、私たちの住む富岡のまちを調べて、このまちのことがもっともっと大好きになりました。また、校舎内を学校探検し、富岡小の歴史や魅力についてまとめ、普段通り慣れたはずの自分たちの学校の新たな一面を発見したり、改めてその良さに気づいたりしました。

毎年行われる行事にも工夫を凝らし、150周年の彩りを加えようとがんばりました。記念運動会では、どの学年の子どもたちも見に来てくださった保護者や地域の方々に「150周年」を伝えようと、例年以上の“何か”を求めて演技や競技に臨み、大成功を収めました。高学年児童がソーラン節で着用した地域の皆様に寄贈していただいた記念の法被（はっぴ）は、これから長く引き継いでいき、新たな伝統を築く上で、欠かすことのできない一品として、大切にしていきます。

6月に行った150周年創立記念集会でのコンセプトは、『子どもたちから150歳を迎える富岡小学校のお誕生日をお祝いしよう！』です。全校児童一人ひとりから富岡小へのお祝いメッセージをしたため、そのメッセージを貼った6段飾りの特大のバースデーケーキを子どもたちから富岡小学校へプレゼント。バースデーソングを歌ってお祝いしました。この考え方が素敵だなと、わきで見ているととても心が温かくなりました。

さあ、いよいよ150周年記念月間が始まります。11日(土)は、第一部として各学年児童が練習を積み重ねてきた発表会の場となる「150周年を祝う会」を、第二部として各方面のご来賓の方々をお招きし、「150周年記念式典」を執り行います。式典には学校を代表して最高学年の6年生が出席します。その開式の際に、皆様からいただいた法被を再び身にまとい、魂のこもったソーラン節を披露します。保護者の皆様には、代休明けとなる14日(火)の「発表とみおかタイム」にて、学年発表の様子をご覧くださいこととなります。歌や合奏あり、群読や劇ありと、見ごたえ十分。ぜひ、子どもたちのがんばりを見に、学校まで足をお運びください。体育館の収容人数の関係で、ご不便をおかけすることもあるかと思えます。ご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。

また、式典当日となる11日には、子どもたちの学習の成果がめいっぱい詰まった、全ページ児童・職員による完全手づくりの150周年記念誌『とみおか150』を配布いたします。ボリューム満点です。こちらもお楽しみに。最後に、全校の保護者様で構成される富岡小PTAの方からも、150周年を祝し多大なるご寄贈を賜りました。改めまして、感謝申し上げます。いただいた数々のお品は、次号の学校だよりで、お知らせさせていただきます。感謝の心をもって大切にさせていただきます。本当にありがとうございました。

多くのまちの皆様、保護者の皆様に支えられ、子どもたちがすくすくとたくましく伸びていく富岡小学校のすばらしさを改めて、日々実感しております。心から御礼申し上げます。150周年記念行事、ご期待ください。